

あきる野市 議会だより

平成23.5.1

NO. **634**

発行／あきる野市議会 編集／議会報編集特別委員会 TEL 558-1111 〒197-0814 あきる野市二宮350



2人は今日から1年生（小宮小学校最後の入学式）

第1回（3月）定例会

議会改革検討委員会 最終答申出る P3

● 審議結果

提出された議案を慎重に審議…………… P 2

● 一般質問

聞いてみたいな、こんなこと（質問者20名）…………… P 6

● 今昔写真館

伊奈を通る五日市街道…………… P18

本会議の様様をインターネットで配信中

くわしくはP17をご覧ください

再生紙を使用しています

この度の東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

あきる野市議会

平成23年3月 定例会の概要

- 3 月定例会は、2月23日に開会し、3月25日まで31日間の会期で行われました。
- 定 例会初日は、平成23年度施政方針が示され、その後、市長から提出のあった議案を審議し、補正予算等の採決や議案の委員会付託が行われました。
- 3 月2日には総務委員会、3日には環境建設委員会、4日には福祉文教委員会の各常任委員会が開催されました。総務委員会及び環境建設委員会では所管事務調査が行われ、福祉文教委員会では付託された議案の審査が行われました。
- 8 日から10日までの3日間は、20名の議員による一般質問が行われました。
- 15 日には予算特別委員会が開催され、23年度の一般会計予算と6件の特別会計予算が審査されました。
- 最 終日の25日には、福祉文教委員長及び予算特別委員長から委員長報告を受け、質疑・討論の後、採決が行われました。

3月定例会で決まったこと

市長提出議案（16件）

〔全会一致で原案を可決〕

- あきる野市立学校設置条例の一部を改正する条例
小宮小学校を閉校し、五日市小学校へ統合するため、規定を整備するものです。

○財産（東秋留保育園の建物）の無償譲渡について
財産を無償譲渡することについて、地方自治法第96条第1項第6号の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

○あきる野市国民健康保険条例の一部を改正する条例
平成22年度末まで暫定的に引き上げた出産育児一時金の支給額の恒久化に伴い、規定を整備するものです。

平成22年度補正予算

〔全会一致で原案を可決〕

- 平成22年度あきる野市一般会計補正予算（第6号）
- 平成22年度あきる野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 平成22年度あきる野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

正予算（第2号）

- 平成22年度あきる野市介護保険特別会計補正予算（第4号）

- 平成22年度あきる野市下水道事業特別会計補正予算（第4号）

- 平成22年度あきる野市テレビ共同受信事業特別会計補正予算（第1号）
- *補正予算額については下表をご覧ください。

平成23年度予算

〔賛成多数で原案を可決〕

- 平成23年度あきる野市一般会計予算
- 平成23年度あきる野市国民健康保険特別会計予算
- 平成23年度あきる野市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成23年度あきる野市介護保険特別会計予算

〔全会一致で原案を可決〕

- 平成23年度あきる野市戸倉財産区特別会計予算
- 平成23年度あきる野市下水道事業特別会計予算
- 平成23年度あきる野市テレビ共同受信事業特別会計予算

*平成23年度予算に関しては、P4、5をご覧ください。

平成22年度 会計別補正予算額

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額	
一般会計（第6号）	294億3551万4千円	1億5860万9千円	295億9412万3千円	
特別会計	国民健康保険（第2号）	85億6545万1千円	△2億2702万0千円	83億3843万1千円
	後期高齢者医療（第2号）	13億8761万5千円	△6672万9千円	13億2088万6千円
	介護保険（第4号）	41億3618万8千円	△1億2094万0千円	40億1524万8千円
	下水道事業（第4号）	30億2129万2千円	△7245万1千円	29億4884万1千円
	テレビ共同受信事業（第1号）	3億3457万1千円	△2526万5千円	3億930万6千円

開かれた議会運営を目指し！

議会改革 検討委員会



委員長から議長へ答申書の提出
(左から：市倉議長、戸沢委員長、町田副委員長)

最終答申出る！

平成23年3月25日の3月定例会最終日に、議会改革検討委員会委員長から議長へ答申書が提出されました。
議長から諮問を受け、平成21年12月3日から活動を開始した議会改革検討委員会は、ワーキンググループの活動と合わせ全20回の会議を開催しました。このことにより議会改革検討委員会は終了しますが、検討課題もあり、今後も議会改革は継続されます。

答申書内容

(1) 議会活性化に係る事項

- ① 市の財政状況を考慮したうえで、本会議の中継に続いて委員会中継をめざす。
- ② 議会基本条例の制定に向け今後検討する。
- ③ 夜間・休日市議会開催は、インターネット配信をしているので、今後の課題とする。
- ④ 「出前市議会報告会」は希望者で実施する。

(2) 議会改革に係る事項

- ① 市議会だよりの一般質問について、質問者の会派を明記し顔写真を付けることについての提案は今後の課題とする。
- ② 市議会だよりのカラー化・広告掲載については、今後検討する。
- ③ 議会用語を広く市民に分かり易くするため、適時改善を図る。
- ④ 政務調査費の支出を効率的にするために、マニュアルを作成する。

(3) 議会運営に係る事項

- 市民等から出された請願・陳情に対する市議会の対応
- ① 請願・陳情審査は、行政の判断を問うのではなく、二元代表制のもとで、主体的に委員の判断で審査する。
委員の請願・陳情に対する見解と賛否は審査最終結の際に全員が表明する。
 - ② 委員会が継続審査とした請願・陳情においては、閉会中に調査・研究し、次の定例会の委員会で採決出来るよう努力

する。

- ③ 議会運営等に関する申し合わせ事項第15(8)中「ただし、前回の定例会において結果の出ている陳情と趣旨の陳情については、議長預かりとする。」を削除する。
- ④ 請願・陳情内容について項目が複数ある場合、項目ごとの採決ができるよう検討する。
- ⑤ 陳情者が常任委員会で陳述を希望する場合には、事前に常任委員会協議会の決定を得る。なお、陳述させる場合には、委員会を協議会に切り替えて陳述させる。また、陳述者に交通費等費用弁償や保険適用等はない。

(4) 申し合わせに係る事項

申し合わせ事項の改革・改善については適時、会派代表者会議で協議・確認し議員全員協議会で決定する。

(5) その他議会改革に関する事項

- ① 議員定数については、平成21年の市議会議員選挙に於いて3議席減員した経過もあり、今後引き続き研究する。
- ② 議員報酬については、市長が設置する特別職報酬等審議会に委ねる。

ただし、議員報酬の額は、市民から選ばれた市議会議員が専門職として専念できる生活が最低限保障されるべきである。

- ⑥ 平成20年9月定例会で最終報告を行った検討事項の検証
平成20年9月定例会での最終報告に基づく検討課題は、(1)から(5)の各項目に反映させて議論してきたので省略する。



議会改革検討委員会会議の様子

平成23年度予算を可決

予算特別委員会を設置し集中審査

平成23年度の一般会計予算及び6件の特別会計予算は、3月15日に議長を除く全議員で構成する予算特別委員会において、審査が行われました。

委員会では、活発な質疑が行われ、慎重な審査の結果、一般会計予算及び6件の特別会計予算は、すべて原案のとおり可決されました。

本会議最終日において、予算特別委員長が審査報告を行い、その報告を受け、質疑や討論が行われました。その後、一般会計予算及び6件の特別会計予算の採決が行われ、すべて原案のとおり可決されました。



予算特別委員会での採決

一般会計予算に対する討論

反対

日本共産党
あきる野市議団

市が実施した市民アンケートでは、市民が望む市のあり方は、「保健・医療の充実したまち」「高齢者等にやさしい福祉のまち」が1位2位を占め、福祉に重点を置くことを市民が望んでいることが明らかである。行政改革を進めるなかでも福祉は守るべきだということを示している。

町内会・自治会をはじめとする各種団体への補助金や小中学校の修学旅行の補助金、健康増進のために多くの市民が利用している、いきいきセンターなどの予算を削る一方で、不急の施策である森づくりなどにつき込もうとしていることは、見過ごすわけにはいかない。当初郷土の恵みの森事業については、莫大な経費をかけないと言っていた。しかし、この事業は、本市域の60%を占める山々を対象としており、今後も相当の予算措置を覚悟しなければならぬ。市民の声を尊重し、くらしや医療・福祉を最優先に税金を使うべきである。

以上の点を挙げ、反対討論とする。

賛成

志清会・新風会

新年度予算は、前年度対比8.4%増の310億410万1千円だが、市営住宅建替事業、子ども手当給付事業、私立保育所施設整備に対する補助事業、予防接種事業の拡充、公共施設の耐震化事業などの取り組みによるものと理解しており、限られた財源を効率的に配分した予算であると評価する。

また、志清会として要望したLED化の推進など環境都市あきる野の実現に向けた施策が予算計上され、その成果に期待する。

一方、突如として東日本を襲った巨大地震は各地に甚大な被害をもたらしており、防災に対する市民の要望や期待は高まっている。そこで、歳出については、消防団の組織や地域防災力の強化、公共施設の耐震化を前倒しする等、市民一人ひとりの安全が確実に確保できるよう万全な対策をお願いしたい。

今回の災害は歳入の根幹を成す市税や各種交付金の減少など、全国地方自治体の財政運営において予断を許さない状況を作り出しているが、新たな財源確保のための導入事例の調査研究など積極的に実行し、市民サービスが停滞することのないようお願いし、賛成討論とする。

平成23年度 会計別当初予算額

会計別		平成23年度	平成22年度	増減率
一	般 会 計	310億410万1千円	285億9771万8千円	8.4%
特 別 会 計	国民健康保険	82億1873万6千円	81億7237万4千円	0.6%
	老人保健	0円	445万4千円	皆減
	後期高齢者医療	12億7346万1千円	13億2285万5千円	△3.7%
	介護保険	42億2387万5千円	41億189万0千円	3.0%
	戸倉財産区	1400万2千円	1336万2千円	4.8%
	下水道事業	30億7777万4千円	30億3713万0千円	1.3%
	テレビ共同受信事業	1億651万2千円	3億3457万1千円	△68.2%
合 計		479億1846万1千円	455億8435万4千円	5.1%

*皆減…当年度に数値がなく全額減少したもの

賛成

政和会

平成23年度一般会計予算は、310億410万1千円で、前年度予算に対して金額で24億638万3千円、率にして8.4%の増となっている。歳入については、根幹を成す市税収入が、前年度に対し4.7%減の103億1650万1千円で、金額にして約5億900万円減となっている。一方で、世代と文化の進展とともに、生活保護費や待機児童対策などの社会保障費は年々膨張しており、大幅な財源不足が生じている。歳出について主なものは、子ども手当・認知症デイサービス・都市近郊農業施設整備事業・学校耐震工事・市営住宅整備事業などがあるが、市民生活安寧のためにはどの事業も不可欠であり、おおむね効率的に財源が配分されていると理解する。

以上、限られた予算枠の中で市民福祉の向上に最大限努力された職員のご苦勞に敬意を表して本予算に対する賛成討論とする。

賛成

公明党

はじめに、この度の東日本大震災で被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。そして、平成23年度の一般会計予算は、市税の減収見込みの中、社会保障関係経費の増加など大変厳しい財政状況にあるが、市の将来の発展に向けた「協働のまちづくり」「環境都市あきる野」そして「危機管理の推進」の取り組みなど、限られた財源を効果的に配分した予算であると思っている。

特に、学校施設の耐震化が完了することや地域防災リーダーの育成、高齢者の見守り事業、民間保育所の施設整備支援などを高く評価するとともに、市税等コンビニ収納などの行革推進の取り組みを評価する。

今回の大震災に伴い、今後相当厳しい社会状況になると言わざるを得ない。市当局には、今後の動向をしっかりと見極めながら、柔軟かつ堅実な行政運営をお願いし、賛成討論とする。

賛成

民主党

一般会計当初予算は、前年度比8.4%増の310億410万1千円で、子ども手当・生活保護費の給付、市営住宅建替、私立保育園施設整備費補助、地域密着型サービス整備及び予防接種等の事業費が増えた。

「環境都市あきる野」の実現に向け、市政運営の重要施策として、豊かな自然資源を保全・活用、安心・安全なまちづくりへの取り組み、産業・観光・農業・林業・教育・文化・スポーツの振興、保健福祉・都市基盤の充実、行政改革の更なる推進の施策を打ち出している。

今後は、歳入の減少に反し、行政需要が増加していく現状に鑑み、財政の健全化は最重要課題であり、限られた財源を有効かつ効率的に活用し、施策の重点化を図ってほしい。

平成22年度決算見込みでは、地方公共団体の財源の健全化に関する法律に基づく4指標水準で、健全化対象にならないことが見込まれることを踏まえ、活力ある市政を推進するよう願って賛成討論とする。